ほぼ月刊テラダニュース
TERADA MOKEI
2021/1 vol.44
題字：栗辻デザイン

テラダモケイが食玩に!!

機動戦士ガンダム 添景カードウエハース feat.TERADAMOKEI

アムロ、テラダモケイいきまーす！

問い合わせ先：バンダイお客様相談センター　ナビダイヤル：0570-014-315

おいしい
バニラクリーム味ウエハース１枚入り

そもそものテラダモケイのきっかけはプラモデルだ。そのプラモデル好きが昂じて興したのがテラダモケイ。

ブランド名も「田宮模型」への敬意から「テラダモケイ」とした。寺田は今でも模型界のレジェンド、田宮俊作会長の名刺をプラモデルと一緒に飾って、毎朝拝んでいる。

そんな寺田だからもちろんガンプラにも熱中した。小学生時代、おもちゃ屋さんによく並んだ。朝早くから並んだのにアッガイしかなくて泣いたこともあった。

ジムとボールの大部隊を作ろうとしたが当時の軍事費（おこづかい）では到底ムリだった。そんな少年期を過ごした寺田だったので、今回のバンダイ（!!）とのコラボレーションはスペースコロニーがシドニーに墜ちるよりビックリした。なんとも光栄な話である。

製品はバニラクリーム味のウエハースにテラダモケイが同梱されるという形態。全５種のキットは両面フルカラー印刷で、1/700スケールのモビルスーツが精密に再現されている。これは、バンダイの技術無くしてはあり得なかった。まさにテラダモケイの「いろプラ」バージョン。しかも550円（税別）という驚愕の破格値だ。

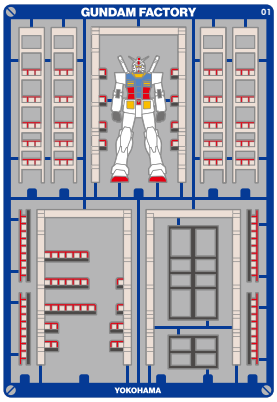
今回の取り組みについて寺田は、「何十年も温めてきたガンダム愛を具現化できたことは感無量だ。」と遠い目だ。また、「今回はガンダム全43話の中から4話分製作したが、いずれは全話作りたい。まずは第15話の『ククルス・ドアンの島』からはじめたい。」と語った。

この「機動戦士ガンダム 添景カードウエハース feat.TERADAMOKEI」は、横浜にオープンした実物大の動くガンダムで話題の「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA」のほか、GUNDAM cafeなどでの販売が決まっている。

© 創通・サンライズ

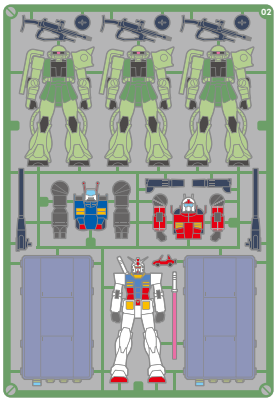
同梱される添景カードデザインは全５種！　ストーリーに沿った展開で劇中の名シーンが製作可能

01: GUNDAM FACTORY YOKOHAMA



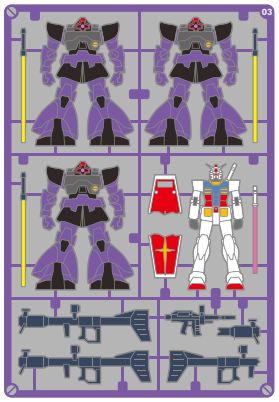
ガンダム、ガンダムドック

02: ガンダム大地に立つ！！



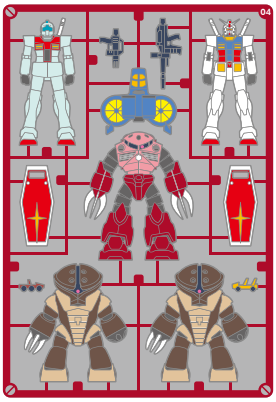
ガンダム、ガンキャノン、ガンタンク、ガンダムトレーラー、ザク

03: 追撃！トリプル・ドム



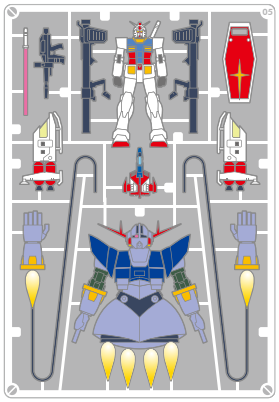
ガンダム、ドム

04: ジャブローに散る！



ガンダム、ジム、ファンファン、アッガイ、ズゴック

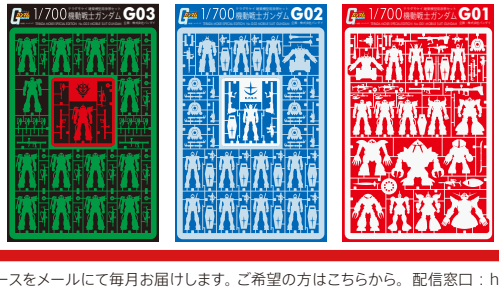
05: 脱出



ガンダム、コアファイター、ランチ、ジオング

同時発売!!

バニラ味のウエハースがきっかけで、バンダイとのさらなるコラボレーションが実現した。1/700建築模型用添景セットスペシャルエディション『機動戦士ガンダム』全３種で展開だ。



縮尺は艦船プラモデルの世界では最もポピュラーなスケールの1/700とした。

戦艦大和と作り比べる人はそうそういないと思うが、ガンダムワールドでの重要なファクターの「量産型」をずらっと並べるには都合が良いスケールだ。

こちらは全国のテラダモケイ取扱店、テラダモケイオフィシャルサイトなどで販売。

寺田はさっそく、ジムとボールの大部隊を作ってア・バオア・クー攻略のジオラマを構想中だ。

「戦いは数だよ、兄さん」（ドズル中将）

※テラダニュース45号の詳細記事を参照ください。

編集後記：ガンプラの技術には本当に驚いた。多色成形であったりスナップフィットであったり。僕にとってのプラモとは、グレーの成形色でやすりがけと塗装の地道な労働の繰り返しに喜びを感じることだ。なのでガンプラは脅威だ。ニュータイプになれない自分を実感した。